



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月11日

東

上場会社名 田岡化学工業株式会社

上場取引所

コード番号 4113

URL <http://www.taoka-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 佐藤 良

問合せ先責任者 (役職名) 事業支援室部長

(氏名) 勝本 泰仁

(TEL) 06-6394-1221

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月5日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	25,671	5.0	2,688	5.4	2,710	5.0	1,897	4.3
2019年3月期	24,457	12.0	2,550	22.9	2,582	22.9	1,819	33.5

(注) 包括利益 2020年3月期 1,903百万円(4.1%) 2019年3月期 1,829百万円(27.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	661.96	—	15.6	11.5	10.5
2019年3月期	634.70	—	17.1	11.7	10.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	24,468	12,969	53.0	4,525.19
2019年3月期	22,838	11,414	50.0	3,981.62

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,969百万円 2019年3月期 11,414百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,848	△1,583	△694	1,884
2019年3月期	3,588	△1,301	△1,404	1,320

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00	286	15.8	2.7
2020年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00	343	18.1	2.8
2021年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00		18.1	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	13.4	1,400	65.0	1,400	61.3	950	50.3	331.31
通 期	27,500	7.1	2,800	4.1	2,800	3.3	1,900	0.1	662.90

(注) 上記連結業績予想は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が限定的なものにとどまることを仮定し予想しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期	2,888,000株	2019年3月期	2,888,000株
2020年3月期	21,821株	2019年3月期	21,312株
2020年3月期	2,866,466株	2019年3月期	2,866,960株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	24,975	4.9	2,626	4.3	2,694	4.0	1,901	3.4
2019年3月期	23,808	12.7	2,517	22.0	2,590	23.6	1,839	42.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	663.39		—					
2019年3月期	641.61		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	24,347	12,891	52.9	4,497.73
2019年3月期	22,754	11,355	49.9	3,961.03

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,891百万円 2019年3月期 11,355百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報および合理的であるとする一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての事項等については添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
役員の異動	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦に好転の兆しが見られたことやイギリスのEU離脱問題への懸念の軽減などもあり、底堅いアメリカ経済や新興国の経済成長等にも支えられて、ほぼ前年並みに推移してきました。しかしながら、1月以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的なサプライチェーンの崩壊、各国の渡航制限や外出禁止令等の経済活動を著しく制限する施策の実施により情勢は一変し、今後が見通せない状況となっております。日本経済におきましては、昨年の消費増税は前回ほど個人消費への打撃にはなりませんでしたが、米中貿易摩擦や大型台風の被害、暖冬等の影響もあり、昨年10-12月期の実質GDPは大きく落ち込みました。更に、今年に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大によるインバウンド需要の激減、輸出の不振、更には個人消費の落ち込み等により景気は後退色を強めています。

このような状況の中ではありますが、当社グループは今年度を初年度とする新中期計画（ATV-2020+）の基本方針に沿って、販売価格の適正化、製造合理化、積極的な拡張努力などによる一層の業績改善に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は、256億71百万円（前連結会計年度比12億14百万円、5.0%増）となりました。損益面におきましては、老朽更新工事等による稼働日数減少等の影響はあったものの、委託製造等の活用により数量を補い自社設備での効率的な生産に努めた結果、営業利益は26億88百万円（同1億38百万円、5.4%増）、経常利益は27億10百万円（同1億27百万円、5.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は18億97百万円（同77百万円、4.3%増）となりました。

セグメント別の売上高の概況

区 分	前連結会計年度		当連結会計年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	12,977	53.1	13,803	53.7	826	6.4
機能材部門	3,695	15.1	3,532	13.8	△163	△4.4
機能樹脂部門	2,502	10.2	3,124	12.2	621	24.8
化成品部門	4,762	19.5	4,661	18.2	△100	△2.1
化学工業セグメント	23,938	97.9	25,122	97.9	1,184	4.9
その他	519	2.1	548	2.1	29	5.8
合 計	24,457	100.0	25,671	100.0	1,214	5.0

<化学工業セグメント>

当セグメントの売上高は251億22百万円となり、前連結会計年度に比べ11億84百万円の増収となりました。

(精密化学品部門)

医薬中間体が好調に推移したことや需要が旺盛な樹脂原料の数量増が寄与し、売上高は138億3百万円となり、前連結会計年度に比べ8億26百万円の増収（前連結会計年度比6.4%増）となりました。

(機能材部門)

瞬間接着剤は堅調に推移したものの、ゴム薬品は国内外ともに出荷が減少したことから、売上高は35億32百万円となり、前連結会計年度に比べ1億63百万円の減収（同4.4%減）となりました。

(機能樹脂部門)

紙用加工樹脂は需要の低下により漸減したものの、前年第2四半期会計期間に完成した機能樹脂生産設備の寄与によりワニスの出荷数量が増加したため、売上高は31億24百万円となり、前連結会計年度に比べ6億21百万円の増収（同24.8%増）となりました。

(化成品部門)

可塑剤の出荷数量は増加しましたが、原料価格に連動した販売価格の下落により、売上高は46億61百万円となり、前連結会計年度に比べ1億円の減収（同2.1%減）となりました。

<その他>

化学分析受託事業は、主として作業環境測定が増加により、売上高は5億48百万円となり、前連結会計年度に比べ29百万円の増収（同5.8%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度における流動資産の残高は138億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億60百万円増加いたしました。これは、主として好調なキャッシュ・フローにより流動資産その他に含まれる預託金が一時的に増加したことや、需要増に伴うたな卸資産の増加によるものです。

(固定資産)

当連結会計年度における固定資産の残高は106億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億69百万円増加いたしました。これは、主として樹脂原料生産設備の老朽更新や農薬中間体生産設備の増強等を行ったことによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、16億30百万円増加し、244億68百万円となりました。

(流動負債)

当連結会計年度における流動負債の残高は81億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億27百万円増加いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

(固定負債)

当連結会計年度における固定負債の残高は33億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億52百万円減少いたしました。これは、主として長期借入金の返済によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ74百万円増加し114億98百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度における純資産の残高は129億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億55百万円増加いたしました。これは、主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度に比べて5億64百万円増加し、18億84百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、28億48百万円の収入（前連結会計年度は35億88百万円の収入）となりました。主なものは、税金等調整前当期純利益26億94百万円、減価償却費14億52百万円、棚卸資産の増加額4億44百万円、法人税等の支払額7億25百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、15億83百万円の支出（前連結会計年度は13億1百万円の支出）となりました。主なものは、有形固定資産取得による支出14億94百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、6億94百万円の支出（前連結会計年度は14億4百万円の支出）となりました。主なものは、長期借入金の返済による支出3億44百万円、配当金の支払額3億43百万円等であります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、世界的に新型コロナウイルスへの感染抑制最優先の政策が続いており、景気の減速は避けられない状況となっております。またその救済策として、各国で金融緩和や景気対策、所得補償等の対策が打ち出されておりますが、世界経済の回復がいつなされるのか、現時点で予測することは困難な状況であり、回復までの期間が長引けばより厳しい事業環境に陥ることが予想されます。

このような環境下、当社グループは、経済が正常化した後の需要の回復に備えて強靱な事業基盤を粛々と構築していくとともに、新中期経営計画の基本方針に沿い、すべての面で一段高いレベルの会社にステップアップすることを目指してまいります。需要が拡大する樹脂モノマーでは、従来から取り組んできた生産性の一層の向上や生産計画の最適化などに加え、新規設備の導入に向けたインフラ整備をはじめとする各種の施策を実行に移し、具体化の検討を加速しています。また、昨年10月の上海における販売会社開設、インド子会社におけるゴム薬品製造設備新設といった海外事業化比率の拡大にも積極的に取り組むなど、一つ一つの施策を着実に積み重ね、当社グループの更なる発展に努めてまいります。

次年度の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が限定的なものにとどまることを仮定し、売上高275億円、営業利益28億円、経常利益28億円、親会社株主に帰属する当期純利益19億円を予想しております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は新型コロナウイルス感染症拡大の影響がより大きくなる場合など、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営方針として位置づけ、財務体質の強化と今後の事業展開への対応を図るために必要な内部留保を確保しつつも、安定配当を実施していくことを基本方針としております。なお、機動的な資金政策および配当政策を実施するため、当社の剰余金の配当等を決定する機関は取締役会とする旨を定款に定めております。

この方針に基づき、当事業年度の期末配当金につきましては、本日開催の取締役会において1株あたり60円、効力発生日（支払開始日）は2020年6月5日とさせていただきました。これにより、中間配当金60円を含めた年間配当金は1株につき120円となります。

次期の配当につきましては、今後の設備投資等の資金需要に備えることなどを総合的に勘案し、中間配当金は1株当たり60円、期末配当金は1株当たり60円とし、年間120円（配当性向予想18.1%）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,320,167	684,591
受取手形及び売掛金	5,187,145	5,288,175
商品及び製品	3,675,469	3,836,605
仕掛品	94,147	439,718
原材料及び貯蔵品	1,891,779	1,828,523
その他	208,748	1,760,669
貸倒引当金	△51	—
流動資産合計	12,377,406	13,838,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,309,207	8,453,335
減価償却累計額	△5,312,821	△5,446,437
建物及び構築物（純額）	2,996,386	3,006,898
機械装置及び運搬具	21,938,107	22,056,013
減価償却累計額	△17,613,041	△17,749,766
機械装置及び運搬具（純額）	4,325,066	4,306,247
土地	1,205,858	1,208,903
建設仮勘定	224,096	205,206
その他	2,092,682	2,262,859
減価償却累計額	△1,613,296	△1,684,082
その他（純額）	479,385	578,777
有形固定資産合計	9,230,792	9,306,033
無形固定資産		
ソフトウェア	17,431	19,208
その他	21,532	20,163
無形固定資産合計	38,964	39,372
投資その他の資産		
投資有価証券	98,869	70,787
関係会社株式	35,228	35,228
関係会社出資金	—	65,900
繰延税金資産	1,004,458	1,059,135
その他	53,726	54,945
貸倒引当金	△700	△700
投資その他の資産合計	1,191,582	1,285,295
固定資産合計	10,461,339	10,630,700
資産合計	22,838,746	24,468,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,804,999	5,174,380
1年内返済予定の長期借入金	345,000	300,000
未払法人税等	552,396	688,836
賞与引当金	451,342	453,079
その他	1,710,858	1,575,382
流動負債合計	7,864,597	8,191,678
固定負債		
長期借入金	855,495	554,415
退職給付に係る負債	2,487,625	2,526,308
その他	216,965	226,590
固定負債合計	3,560,085	3,307,313
負債合計	11,424,682	11,498,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	8,803,724	10,357,224
自己株式	△30,664	△34,521
株主資本合計	11,353,815	12,903,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,951	30,472
為替換算調整勘定	16,152	15,588
退職給付に係る調整累計額	△3,857	20,474
その他の包括利益累計額合計	60,247	66,535
純資産合計	11,414,063	12,969,994
負債純資産合計	22,838,746	24,468,986

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	24,457,572	25,671,601
売上原価	18,849,031	20,002,377
売上総利益	5,608,540	5,669,224
販売費及び一般管理費	3,058,368	2,980,246
営業利益	2,550,172	2,688,977
営業外収益		
受取利息	1,105	3,762
受取配当金	17,024	16,080
その他	28,030	27,921
営業外収益合計	46,159	47,764
営業外費用		
支払利息	6,269	5,072
その他	7,897	21,644
営業外費用合計	14,166	26,717
経常利益	2,582,165	2,710,025
特別損失		
固定資産除却損	32,130	15,511
PCB処理費用	32,624	—
特別損失合計	64,754	15,511
税金等調整前当期純利益	2,517,411	2,694,513
法人税、住民税及び事業税	845,507	854,715
法人税等調整額	△147,754	△57,695
法人税等合計	697,753	797,019
当期純利益	1,819,658	1,897,494
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,819,658	1,897,494

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,819,658	1,897,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,796	△17,479
為替換算調整勘定	1,246	△564
退職給付に係る調整額	17,193	24,331
その他の包括利益合計	9,643	6,288
包括利益	1,829,301	1,903,783
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,829,301	1,903,783
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,572,000	1,008,755	7,213,431	△28,214	9,765,973
当期変動額					
剰余金の配当			△229,365		△229,365
親会社株主に帰属する当期純利益			1,819,658		1,819,658
自己株式の取得				△2,449	△2,449
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,590,292	△2,449	1,587,842
当期末残高	1,572,000	1,008,755	8,803,724	△30,664	11,353,815

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	56,748	14,906	△21,051	50,603	9,816,576
当期変動額					
剰余金の配当					△229,365
親会社株主に帰属する当期純利益					1,819,658
自己株式の取得					△2,449
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△8,796	1,246	17,193	9,643	9,643
当期変動額合計	△8,796	1,246	17,193	9,643	1,597,486
当期末残高	47,951	16,152	△3,857	60,247	11,414,063

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,572,000	1,008,755	8,803,724	△30,664	11,353,815
当期変動額					
剰余金の配当			△343,994		△343,994
親会社株主に帰属する当期純利益			1,897,494		1,897,494
自己株式の取得				△3,857	△3,857
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	1,553,500	△3,857	1,549,642
当期末残高	1,572,000	1,008,755	10,357,224	△34,521	12,903,458

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	47,951	16,152	△3,857	60,247	11,414,063
当期変動額					
剰余金の配当					△343,994
親会社株主に帰属する当期純利益					1,897,494
自己株式の取得					△3,857
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△17,479	△564	24,331	6,288	6,288
当期変動額合計	△17,479	△564	24,331	6,288	1,555,930
当期末残高	30,472	15,588	20,474	66,535	12,969,994

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,517,411	2,694,513
減価償却費	1,371,605	1,452,409
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	128,664	73,732
受取利息及び受取配当金	△18,129	△19,842
支払利息	6,269	5,072
固定資産除却損	32,130	15,511
売上債権の増減額 (△は増加)	60,216	△101,250
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△741,023	△444,275
仕入債務の増減額 (△は減少)	577,766	369,745
その他	353,583	△486,498
小計	4,288,494	3,559,118
利息及び配当金の受取額	18,129	19,842
利息の支払額	△6,472	△5,173
法人税等の支払額	△711,224	△725,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,588,927	2,848,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,284,886	△1,494,375
有形固定資産の売却による収入	—	448
無形固定資産の取得による支出	△20,181	△14,514
投資有価証券の取得による支出	△213	—
投資有価証券の売却による収入	—	2,955
関係会社出資金の取得による支出	—	△65,900
その他	4,273	△11,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,301,008	△1,583,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△650,000	—
長期借入金の返済による支出	△521,107	△344,644
自己株式の増減額 (△は増加)	△2,449	△3,857
配当金の支払額	△229,365	△343,994
リース債務の返済による支出	△1,951	△2,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,404,874	△694,535
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,038	△6,097
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	882,006	564,423
現金及び現金同等物の期首残高	438,161	1,320,167
現金及び現金同等物の期末残高	1,320,167	1,884,591

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の報告セグメントは、「化学工業セグメント」を報告セグメントとしており、精密化学品、機能材、機能樹脂、化成品の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	23,938,527	519,045	24,457,572	—	24,457,572
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	59,761	59,761	△59,761	—
計	23,938,527	578,807	24,517,334	△59,761	24,457,572
セグメント利益	2,515,571	34,715	2,550,286	△114	2,550,172
セグメント資産	22,562,251	177,625	22,739,877	98,869	22,838,746
その他の項目					
減価償却費	1,371,605	—	1,371,605	—	1,371,605
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	1,325,213	—	1,325,213	—	1,325,213

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業であります。

2 調整額は以下の通りであります。

(1) 「セグメント利益」の調整額△114千円は、セグメント間取引の消去に伴う調整額であります。

(2) 「セグメント資産」の調整額は連結会社での長期投資資金（投資有価証券）98,869千円であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,122,640	548,961	25,671,601	—	25,671,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	71,008	71,008	△71,008	—
計	25,122,640	619,970	25,742,610	△71,008	25,671,601
セグメント利益	2,631,851	57,774	2,689,625	△647	2,688,977
セグメント資産	24,182,997	215,202	24,398,199	70,787	24,468,986
その他の項目					
減価償却費	1,452,409	—	1,452,409	—	1,452,409
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	1,550,897	—	1,550,897	—	1,550,897

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業であります。

2 調整額は以下の通りであります。

(1) 「セグメント利益」の調整額△647千円は、セグメント間取引の消去に伴う調整額であります。

(2) 「セグメント資産」の調整額は連結会社での長期投資資金(投資有価証券)70,787千円であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	3,981円62銭	1株当たり純資産額	4,525円19銭
1株当たり当期純利益	634円70銭	1株当たり当期純利益	661円96銭

(注) 1 潜在株式調整後の1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,819,658	1,897,494
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,819,658	1,897,494
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,866	2,866

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,414,063	12,969,994
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	11,414,063	12,969,994
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	2,866	2,866

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

① 代表者の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

1. 新任取締役(監査等委員である取締役を除く。)候補

取締役 田辺 陽 (現 関西学院大学 理工学部化学科 教授)

(注) 新任取締役候補者 田辺 陽氏は、社外取締役候補者であります。

2. 新任取締役(監査等委員) 候補

取締役(監査等委員) 岡田 薫 (現 住化カラー株式会社 監査役(常勤))

取締役(監査等委員) 藤咲 雄司(現 株式会社インバウンドテック 社外取締役)

取締役(監査等委員) 矢倉 昌子(現 アスカ法律事務所 弁護士)

(注) 新任取締役(監査等委員) 候補者 藤咲 雄司氏および矢倉 昌子氏は、社外取締役候補者であります。

3. 退任予定候補者(監査等委員)

取締役(監査等委員) 橋本 正

取締役(監査等委員) 川崎 全司

取締役(監査等委員) 稲山 秀彰

4. 昇任取締役候補

常務取締役 池添 肇 (現 取締役)

<ご参考>役員体制 (2020年6月25日予定)

取締役(監査等委員である取締役を除く。)

役名	氏名
取締役社長(代表取締役)	佐藤 良
専務取締役	日置 毅
専務取締役	数村 秀樹
専務取締役	山下 雅也
専務取締役	田岡 信夫
常務取締役	池添 肇
取締役	岩崎 明
取締役	田辺 陽

(注) 田辺 陽氏は社外取締役であります。

監査等委員である取締役

役名	氏名
取締役(監査等委員)	岡田 薫
取締役(監査等委員)	小西 弘之
取締役(監査等委員)	藤咲 雄司
取締役(監査等委員)	矢倉 昌子

(注) 小西弘之氏、藤咲雄司氏および矢倉昌子氏は、社外取締役であります。